

放射線腫瘍学

1 構 成 員

	平成 28 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
病院教授	0 人	
准教授	0 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	1 人	(0 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	0 人	
合計	2 人	

2 教員の異動状況

中村 和正（教授）（H27.5.1～現職）

小西 憲太（助教）（H25.6.1～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 27 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	11 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	23.87	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	3 編	(2 編)
そのインパクトファクターの合計	2.41	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の

共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Kamitani T, Kawanami S, Asayama Y, Matsuo Y, Yonezawa M, Yamasaki Y, Nagao M, Yamanouchi T, Yabuuchi H, Nakamura K, Nakashima T, Honda H. Feeding Arteries of Primary Tongue Cancers on Intra-arterial Infusion Chemotherapy. *Cardiovasc Intervent Radiol.* 39(2):227-32, 2016.[2.071]
2. Shinoto M, Nakamura K, Shioyama Y, Sasaki T, Nishie A, Asayama Y, Ohga S, Yoshitake T, Terashima K, Asai K, Matsumoto K, Honda H: Prognostic Significance of a Minute Amount of Ascites During Chemoradiotherapy for Locally Advanced Pancreatic Cancer. *Anticancer Res.* 36(4):1879-84, 2016.[1.826]
3. Yoshidome S, Arimura H, Nakamura K, Shioyama Y, Atsumi K, Nakamura Y, Yoshikawa H, Nishikawa K, Hirata H: Automated framework for estimating lung tumor locations for target-based patient positioning in stereotactic body radiotherapy. *BioMed Research International* 2015, 653974, 2015.[1.579]
4. Ohga S, Nakamura K, Shioyama Y, Sasaki T, Yamaguchi T, Yoshitake T, Terashima K, Asai K, Matsumoto K, Honda H: Treatment Outcome of Radiotherapy for Localized Primary Ocular Adnexal MALT Lymphoma--Prognostic Effect of the AJCC Tumor-Node-Metastasis Clinical Staging System. *Anticancer Res.* 35(6):3591-7, 2015. [1.826]
5. Asai K, Nakamura K, Shioyama Y, Sasaki T, Matsuo Y, Ohga S, Yoshitake T, Terashima K, Shinoto M, Matsumoto K, Hirata H, Honda H: Clinical characteristics and outcome of pneumothorax after stereotactic body radiotherapy for lung tumors. *Int J Clin Oncol.* 20(6):1117-21, 2015.[2.128]
6. Yoshitake T, Shioyama Y, Asai K, Nakamura K, Sasaki T, Ohga S, Kamitani T, Yamaguchi T, Ohshima K, Matsumoto K, Kawanami S, Honda H: Impact of interstitial changes on radiation pneumonitis after stereotactic body radiation therapy for lung cancer. *Anticancer res.* 35(9):4909-13, 2015. [1.826]
7. Shiota M, Yokomizo A, Takeuchi A, Imada K, Kiyoshima K, Inokuchi J, Tatsugami K, Ohga S, Nakamura K, Honda H, Naito S: Secondary bladder cancer after anticancer therapy for prostate cancer: reduced comorbidity after androgen-deprivation therapy. *Oncotarget* 6(16):14710-9, 2015.[6.359]
8. Nishie A, Kakihara D, Nojo T, Nakamura K, Kuribayashi S, Kadoya M, Ohtomo K, Sugimura K, Honda H: Current radiologist workload and the shortages in Japan: how many full-time radiologists are required? *Jpn J Radiol.* 33(5):266-72, 2015.[0.837]
9. Isoyama-Shirakawa Y, Nakamura K, Abe M, Kunitake N, Matsumoto K, Ohga S, Sasaki T, Uehara S, Okushima K, Shioyama Y, Honda H: Caudal epidural anesthesia during intracavitary brachytherapy for cervical cancer. *J Radiat Res.* 56(3):583-7, 2015. [1.797]

10. Sonoda K, Yahata H, Ichinoe A, Okugawa K, Kaneki E, Kawano Y, Kenjo H, Ohgami T, Yagi H, Ohga S, Asai K, Nakamura K, Honda H, Kato K: Retrospective analysis of concurrent chemoradiation with triweekly cisplatin plus 5-fluorouracil versus weekly cisplatin in cervical cancer. *Anticancer Res.* 35(6):3447-54, 2015. [1.826]
11. Mizowaki T, Aoki M, Nakamura K, Yorozu A, Kokubo M, Karasawa K, Kozuka T, Nakajima N, Sasai K, Akimoto T: Current status and outcomes of patients developing PSA recurrence after prostatectomy who were treated with salvage radiotherapy: A JROSG surveillance study. *J Radiat Res* 56(4):750-6, 2015.[1.797]

インパクトファクターの小計 [23.872]

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 中村和正, 大賀才路, 佐々木智成: 最近の前立腺がん放射線治療. *日本医師会雑誌* 144(2) 250, 2015.[0.000]
2. 中村和正, 大賀才路, 佐々木智成, 山口俊博, 吉武忠正, 浅井佳央里, 稲盛直人, 塩山善之, 本田浩: 前立腺がんの治療 放射線療法. *臨牀と研究* 92(5): 577-581, 2015. [0.000]

インパクトファクターの小計 [0.000]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

1. Shioyama Y, Tsuji H, Suefuji H, Sinoto M, Matsunobu A, Toyama S, Nakamura K, Kudo S: Particle radiotherapy for prostate cancer. *Int J Urol.* 22(1):33-9, 2015. [2.409]

インパクトファクターの小計 [2.409]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

1. Shioyama Y, Nakamura K, Honda H: Toxicity and Treatment Evaluation. In: *Stereotactic Body Radiation Therapy. Principles and Practices*. Ed Nagata Y. Springer 2015.

4 特許等の出願状況

	平成 27 年度
特許取得数 (出願中含む)	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成27年度	
(1) 科学研究費助成事業 (文部科学省、日本学術振興会)	2件	(70万円)
(2) 厚生労働科学研究費	1件	(5万円)
(3) 日本医療研究開発機構 (AMED) による研究助成	0件	(0万円)
(4) 科学技術振興機構 (JST) による研究助成	0件	(0万円)
(5) 他政府機関による研究助成	0件	(0万円)
(6) 財団助成金	0件	(0万円)
(7) 受託研究または共同研究	1件	(65万円)
(8) 奨学寄附金	1件	(70万円)

(1) 科学研究費助成事業 (文部科学省、日本学術振興会)

1. 中村和正 (研究代表者) 挑戦的萌芽研究, 超高速三次元計測小型カメラによる高精度放射線治療位置認識システムの開発, 平成26年度～平成28年度, 平成27年度 60万円
2. 中村和正 (研究分担者) 基盤研究 (C), IVIMイメージングによる化学放射線治療効果・予後予測法確立, 平成26年度～平成28年度, 平成27年度 10万円

(2) 厚生労働科学研究費

1. 中村和正 (研究分担者) 厚生労働科学研究費補助がん対策推進総合研究事業, がん診療科データベースとJapanese National Cancer Database (JNCDB)の運用と他がん登録との連携, 平成26年度～平成28年度, 平成27年度 5万円

(7) 受託研究または共同研究

企業 1件

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	4件
(2) シンポジウム発表数	1件	2件
(3) 学会座長回数	1件	5件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	6件
(6) 一般演題発表数	3件	

(1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表

1. Nakamura K. Dose Fractionation: From Hyperfractionation to Hypofractionation - Hypofractionated

radiotherapy for prostate cancer – Symposium 15th International Congress of Radiation Research. May 25th-29th. 2015, Kyoto

4) 国際学会・会議等での座長

1. Nakamura K. The 3rd Japan-Taiwan Radiation Oncology Symposium. June 27, 2015, Yamanashi

5) 一般発表

口頭発表

1. Nakamura K. The diffusion pattern and the treatment quality of low dose rate brachytherapy for prostate cancer in Japan. The 15th National Oncology Conference on Interstitial Brachytherapy of Radioactive Seeds. Cangzhou, Nov 6-8, 2015, China
2. Nakamura K. Institutional accrual volume and treatment quality of I-125 prostate seed implantation in a Japanese nationwide prospective cohort study. The 57th Annual Meeting of the American Society for Radiation Oncology, October 18th-21st, 2015, San Antonio, USA.
3. Nakamura K. A new optical surface scanning and monitoring system for patient setup. The 3rd Japan-Taiwan Radiation Oncology Symposium. June 27, 2015, Yamanashi

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 中村和正. 「前立腺癌に対する強度変調放射線治療の現状と今後」第 16 回泌尿器科腫瘍放射線治療研究会 平成 28 年 3 月 24 日 大阪
2. 中村和正. 「高精度放射線治療の現況と展望」第 182 回日本医学放射線学会九州地方会. 平成 28 年 2 月 20-21 日 福岡市
3. 中村和正. 「頭頸部癌における IMRT を含めた高精度放射線治療の有効性とエビデンス」第 9 回九州頭頸部癌フォーラム 福岡市 平成 27 年 11 月 28 日
4. 中村和正. 「日本の放射線治療の構造と今後を考える」第 27 回 九州放射線治療セミナー 福岡 平成 27 年 8 月 1 日

3) シンポジウム発表

1. 中村和正. 「学会の立場から -JASTRO の今後の取り組み-」第 18 回高線量率ラウス医療安全取扱講習会 平成 28 年 2 月 27 日 東京
2. 中村和正. 「少分割・寡分割照射の現況と展望」日本泌尿器腫瘍学会第 1 回学術大会. 平成 27 年 10 月 31 日-11 月 1 日、京都

4) 座長をした学会名

1. 中村和正. 第 11 回 J-POPS 中間報告会 平成 28 年 1 月 23 日、東京
2. 中村和正. 日本放射線腫瘍学会第 28 回学術大会. 平成 27 年 11 月 19-21 日、前橋市
3. 中村和正. PET サマーセミナー2015 in 東京ベイ 平成 27 年 9 月 5 日、浦安市

4. 中村和正. 第 24 回日本定位放射線治療学会 平成 27 年 5 月 15 日、長崎市
5. 小西憲太. 日本医学放射線学会第 158 回中部地方会 平成 27 年 7 月 4-5 日、浜松市

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

1. 中村和正. 日本放射線腫瘍学会、理事、代議員
2. 中村和正. 日本医学放射線学会 代議員
3. 中村和正. 日本頭頸部癌学会 評議員
4. 中村和正. 日本放射線腫瘍学研究機構、理事
5. 中村和正. 日本放射線腫瘍学会高精度放射線外部照射部会 常任幹事、世話人
6. 中村和正. 日本医学放射線学会中部地方会世話人

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	4 件	0 件

(1) 国内の英文雑誌等の編集

1. 中村和正. Journal of Radiation Research（日本放射線影響学会、日本放射線腫瘍学会）Associate Editor、PubMed/Medline 登録有、IF 1.797
2. 中村和正. International Journal of Clinical Oncology（日本癌治療学会）Editorial board, PubMed/Medline 登録有、IF 2.128
3. 中村和正. Japanese Journal of Clinical Oncology Review board, PubMed/Medline 登録有、IF 2.016
4. 中村和正. Breast Cancer（日本乳癌学会）Editorial board, PubMed/Medline 登録有、IF 1.585

(2) 外国の学術雑誌の編集

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

1. 中村和正. 1 回 Oncotarget（米国）
2. 中村和正. 5 回 Journal of Radiation Research（日本）
3. 中村和正. 1 回 International Journal of Clinical Oncology（日本）
4. 中村和正. 3 回 Japanese Journal of Clinical Oncology（日本）
5. 中村和正. 1 回 Japanese Journal of Radiology（日本）
6. 中村和正. 3 回 Breast Cancer（日本）
7. 中村和正. 2 回 Digestive surgery（日本）

9 共同研究の実施状況

	平成 27 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	3 件
(3) 学内共同研究	0 件

(2) 国内共同研究

1. 前立腺癌に対する IMRT/IGRT 併用寡分割照射法の第 II 相臨床試験. 平成 27 年～平成 31 年

2. 超高速三次元計測小型カメラによる高精度放射線治療位置認識システムの開発. 平成 26 年～28 年
3. 日本における前立腺癌に対するヨウ素 125 密封小線源永久挿入療法に関する前向きコホート研究
平成 26 年～

10 産学共同研究

	平成 27 年度
産学共同研究	0 件

11 受賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 頭頸部癌における放射線治療成績の検討
局所進行上顎洞癌に対する動注化学療法併用放射線治療における治療成績を後方視的に検討した。結果をまとめ、論文化する予定である。現在はさらに有害事象の少ない強度変調放射線治療での治療を行っており、将来、治療成績の比較を行う予定である。(小西憲太)
2. 超高速三次元計測小型カメラによる高精度放射線治療位置認識システムの開発
高精度放射線治療での位置ずれをより安全かつ正確に実施するために、MEMS (Micro Electro Mechanical Systems) ミラーを利用した超高速三次元計測小型カメラによる新しい位置認識システムの開発を行っている。埼玉医科大学との共同研究である。(中村和正)
3. がん診療科データベースと Japanese National Cancer Database (JNCDB)の運用と他がん登録との連携
厚生労働科学研究費補助金がん政策研究事業の研究分担者として行っている。日本の放射線治療症例の全国登録 Japanese Radiation Oncology Database (JROD) の作成、運用に参画している。(中村和正)
4. 前立腺癌に対する IMRT/IGRT 併用寡分割照射法の第 II 相臨床試験
厚生労働科学研究費補助金がん臨床の研究分担者として参加し、研究事務局として、強度変調放射線治療および画像誘導放射線治療を使った寡分割照射の有効性をみる臨床第 II 相試験を実施した。全国 20 施設が参加し、現在 132 例の登録が終了し、経過観察中である。(中村和正)
5. 日本における前立腺癌に対するヨウ素 125 密封小線源永久挿入療法に関する前向きコホート研究 (J-POPS)
日本では 2003 年から前立腺癌に対するヨウ素 125 の密封小線源永久挿入治療が開始された。その治療の質を担保するための全国的なプロスペクティブなコホート研究に参加している。治療の質の Quality indicator と登録症例数との相関等を調査している。(中村和正)

13 この期間中の特筆すべき業績, 新技術の開発

14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

15 新聞, 雑誌等による報道